

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年8月11日

【四半期会計期間】 第71期第2四半期(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

【会社名】 株式会社妙徳

【英訳名】 Myotoku Ltd .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 伊 勢 幸 治

【本店の所在の場所】 東京都大田区下丸子二丁目6番18号

【電話番号】 03(3759)1491

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員 泉 陽 一

【最寄りの連絡場所】 東京都大田区下丸子二丁目6番18号

【電話番号】 03(3759)1491

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員 泉 陽 一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第70期 第2四半期 連結累計期間	第71期 第2四半期 連結累計期間	第70期
会計期間	自 2020年1月1日 至 2020年6月30日	自 2021年1月1日 至 2021年6月30日	自 2020年1月1日 至 2020年12月31日
売上高 (千円)	1,084,507	1,267,726	2,183,479
経常利益 (千円)	179,640	275,862	357,728
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	120,147	183,815	244,931
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	92,436	198,133	228,230
純資産 (千円)	4,668,286	4,939,394	4,772,841
総資産 (千円)	5,070,424	5,380,145	5,241,407
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	77.25	118.09	157.41
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	77.24		157.39
自己資本比率 (%)	91.5	91.2	90.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	301,916	277,294	508,705
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	100,179	201,424	210,374
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,950	31,102	35,053
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,821,432	1,941,226	1,889,555

回次	第70期 第2四半期 連結会計期間	第71期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日	自 2021年4月1日 至 2021年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	37.67	67.48

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第71期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があると認識している主要なリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化により経済活動は打撃を受け、米中通商問題についても収束の兆しが見えない厳しい状況でありました。しかしながら、各業界におけるデジタル化推進による半導体関連需要拡大に伴い、景気は緩やかな回復基調となりました。

日本経済においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、設備投資に消極的な姿勢が見られる一方で、半導体関連設備は回復基調にありました。

このような環境下、当社グループは、既存製品の改良や将来を見据えた主力製品開発のための設備投資を推し進めました。販売面においては、新型コロナウイルス感染症の影響による営業活動及び展示会等の自粛の中、半導体関連設備向け製品や物流業界及び食品業界向けのロボット関連製品の販売に注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は1,267,726千円(前年同期比116.9%)、連結経常利益は275,862千円(前年同期比153.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は183,815千円(前年同期比153.0%)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

製造工程の自動化に向けたロボットハンド関連製品を物流及び食品業界へ拡販を行いました。また、5G関連を含めた半導体設備関連の需要を中心に営業活動を展開してまいりました。この結果、売上高は889,034千円(前年同期比112.1%)となりました。営業利益については232,697千円(前年同期比136.1%)となりました。

(韓国)

新型コロナウイルス感染症の長期化の不安要素はありましたが、半導体関連業界の設備投資が活発化し、需要は底堅く推移しました。この結果、売上高は240,041千円(前年同期比148.6%)となりました。営業利益については11,835千円(前年同期は16,486千円の営業損失)となりました。

(中国)

米国との通商問題、一部地域での新型コロナウイルス感染症拡大等の継続的な不安要素はありながらも、中国全土での生産活動や設備投資は回復基調となり、アジア周辺諸国へも設備投資が展開されました。この結果、売上高は69,954千円(前年同期比102.3%)となりました。営業利益については6,871千円(前年同期比72.0%)となりました。

(その他)

タイ国内においては、自動車関連設備、食品関連設備への製品投入を積極的に行いました。タイ国周辺諸国では、半導体設備投資や電子部品の生産拡大を受け、新規及びメンテナンス部品の需要が拡大しました。また、米国子会社においては新規顧客開拓と、既存販売店への拡販活動を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、販売活動が自粛されました。この結果、売上高は68,696千円(前年同期比111.2%)となりました。営業利益についてはメンテナンス部品の需要が大幅に増加し、7,812千円(前年同期比521.6%)となりました。

財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ40,216千円増加し、3,043,073千円となりました。これは主として、現金及び預金が54,837千円、受取手形及び売掛金が60,010千円増加したのに対し、製品が41,473千円、仕掛品が26,303千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ98,521千円増加し、2,337,072千円となりました。これは主として、有形固定資産が100,387千円増加したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ138,738千円増加し、5,380,145千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ26,846千円減少し、283,369千円となりました。これは主として、流動負債のその他が22,725千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ967千円減少し、157,382千円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ27,814千円減少し、440,751千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ166,553千円増加し、4,939,394千円となりました。これは主として、利益剰余金が152,684千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は91.2%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という)は、前連結会計年度末に比べ51,670千円増加し、1,941,226千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益265,466千円に加え、減価償却費83,265千円、たな卸資産の減少額65,571千円等の増加要因に対し、売上債権の増加額48,975千円、法人税等の支払額82,528千円等の減少要因により277,294千円の資金収入(前年同期は301,916千円の資金収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出184,386千円、無形固定資産の取得による支出11,094千円等の減少要因により201,424千円の資金支出(前年同期は100,179千円の資金支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額31,102千円の減少要因により31,102千円の資金支出(前年同期は3,950千円の資金支出)となりました。

(3) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は44,863千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,600,000
計	6,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2021年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年8月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,657,000	1,657,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	1,657,000	1,657,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2021年4月1日～ 2021年6月30日		1,657,000		748,125		944,675

(5) 【大株主の状況】

2021年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
伊勢興産株式会社	東京都大田区久が原六丁目1 - 2	282	18.17
伊 勢 すが子	東京都大田区	126	8.10
伊 勢 幸 治	岩手県奥州市	82	5.29
いずも産業株式会社	島根県出雲市斐川町黒目1260 - 1	52	3.34
光通信株式会社	東京都豊島区西池袋一丁目4 - 10	45	2.90
妙徳従業員持株会	東京都大田区下丸子二丁目6 - 18	41	2.64
MTAsia株式会社	東京都新宿区西新宿八丁目4 - 1	36	2.31
神 谷 信 一	埼玉県坂戸市	30	1.98
株式会社日伝	大阪府大阪市中央区上本町西一丁目2 - 16	28	1.80
小 川 敦	島根県雲南市	26	1.72
計		750	48.24

(注) 上記のほか当社所有の自己株式100千株があります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2021年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,555,200	15,552	
単元未満株式	普通株式 1,400		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	1,657,000		
総株主の議決権		15,552	

(注) 「単元未満株式」には、当社保有の自己株式16株が含まれております。

【自己株式等】

2021年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社妙徳	東京都大田区下丸子二丁目 6番18号	100,400		100,400	6.06
計		100,400		100,400	6.06

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2021年4月1日から2021年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,005,509	2,060,346
受取手形及び売掛金	2 314,348	374,358
電子記録債権	2 220,777	213,397
製品	195,993	154,520
仕掛品	145,124	118,820
原材料	93,691	99,905
その他	27,813	22,267
貸倒引当金	401	543
流動資産合計	3,002,856	3,043,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,406,079	1,395,532
減価償却累計額	801,812	809,701
建物及び構築物(純額)	604,266	585,831
機械装置及び運搬具	1,041,088	1,030,938
減価償却累計額	747,173	763,810
機械装置及び運搬具(純額)	293,915	267,127
土地	701,876	702,218
その他	777,411	942,637
減価償却累計額	667,708	687,666
その他(純額)	109,703	254,971
有形固定資産合計	1,709,761	1,810,148
無形固定資産	68,248	63,252
投資その他の資産		
投資有価証券	368,854	366,918
繰延税金資産	5,760	9,360
その他	85,925	87,391
投資その他の資産合計	460,540	463,671
固定資産合計	2,238,550	2,337,072
資産合計	5,241,407	5,380,145

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,488	40,512
未払法人税等	87,935	85,272
賞与引当金	28,952	27,435
役員賞与引当金	-	4,034
その他	148,840	126,115
流動負債合計	310,216	283,369
固定負債		
退職給付に係る負債	145,408	143,559
繰延税金負債	24	19
その他	12,917	13,803
固定負債合計	158,349	157,382
負債合計	468,565	440,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	1,012,960	1,012,960
利益剰余金	2,972,712	3,125,397
自己株式	119,724	119,724
株主資本合計	4,614,073	4,766,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,742	116,197
為替換算調整勘定	9,460	26,182
その他の包括利益累計額合計	131,202	142,380
非支配株主持分	27,564	30,256
純資産合計	4,772,841	4,939,394
負債純資産合計	5,241,407	5,380,145

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,084,507	1,267,726
売上原価	466,340	593,224
売上総利益	618,167	674,501
販売費及び一般管理費	452,613	415,283
営業利益	165,554	259,217
営業外収益		
受取利息	2,523	1,599
受取配当金	7,324	6,183
受取地家賃	5,724	6,285
為替差益	-	5,094
その他	3,927	2,224
営業外収益合計	19,499	21,387
営業外費用		
売上割引	79	131
為替差損	689	-
減価償却費	3,783	3,787
その他	862	823
営業外費用合計	5,414	4,742
経常利益	179,640	275,862
特別利益		
固定資産売却益	162	371
特別利益合計	162	371
特別損失		
固定資産除却損	0	10,767
特別損失合計	0	10,767
税金等調整前四半期純利益	179,802	265,466
法人税、住民税及び事業税	62,379	79,608
法人税等調整額	2,747	1,139
法人税等合計	59,632	78,468
四半期純利益	120,170	186,997
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	3,181
親会社株主に帰属する四半期純利益	120,147	183,815

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	120,170	186,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,725	5,544
為替換算調整勘定	21,008	16,680
その他の包括利益合計	27,734	11,136
四半期包括利益	92,436	198,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,506	194,993
非支配株主に係る四半期包括利益	1,070	3,139

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	179,802	265,466
減価償却費	95,655	83,265
有形固定資産除却損	0	10,767
有形固定資産売却損益(は益)	162	371
貸倒引当金の増減額(は減少)	32	129
賞与引当金の増減額(は減少)	909	1,749
役員賞与引当金の増減額(は減少)	-	4,034
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	268	1,848
受取利息及び受取配当金	9,847	7,783
売上債権の増減額(は増加)	86,747	48,975
仕入債務の増減額(は減少)	6,011	6,995
たな卸資産の増減額(は増加)	27,236	65,571
その他	20,139	9,828
小計	310,223	351,682
利息及び配当金の受取額	9,847	7,783
法人税等の還付額	5,484	356
法人税等の支払額	23,639	82,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	301,916	277,294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	108,889	117,902
定期預金の払戻による収入	108,889	117,902
投資有価証券の取得による支出	6,254	6,040
有形固定資産の取得による支出	65,299	184,386
有形固定資産の売却による収入	178	408
無形固定資産の取得による支出	28,804	11,094
有形固定資産の除却による支出	-	311
投資活動によるキャッシュ・フロー	100,179	201,424
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	55	-
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	26,812	-
配当金の支払額	30,708	31,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,950	31,102
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,284	6,903
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	192,502	51,670
現金及び現金同等物の期首残高	1,628,930	1,889,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,821,432	1,941,226

【注記事項】

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	1,925千円	880千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形及び電子記録債権が、前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
受取手形	4,792千円	
電子記録債権	2,133 "	

3 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。

当第2四半期連結会計期間末における当座貸越契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
当座貸越極度額の総額	1,150,000千円	1,150,000千円
借入実行残高	"	"
差引額	1,150,000千円	1,150,000千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
役員報酬	45,308千円	36,828千円
給与手当	143,325 "	137,830 "
役員賞与引当金繰入額	"	4,034 "
賞与引当金繰入額	16,392 "	14,870 "
退職給付費用	6,994 "	9,383 "
研究開発費	60,635 "	44,863 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
現金及び預金	1,931,052千円	2,060,346千円
預入期間が3か月超の定期預金	109,620 "	119,120 "
現金及び現金同等物	1,821,432千円	1,941,226千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月24日 定時株主総会	普通株式	30,853	20.00	2019年12月31日	2020年3月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年8月12日 取締役会	普通株式	31,132	20.00	2020年6月30日	2020年8月27日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年3月24日 定時株主総会	普通株式	31,131	20.00	2020年12月31日	2021年3月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年8月11日 取締役会	普通株式	38,914	25.00	2021年6月30日	2021年9月6日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	792,820	161,528	68,402	1,022,751	61,756	1,084,507
セグメント間の内部売上高 又は振替高	133,818	60,847	-	194,666	-	194,666
計	926,638	222,376	68,402	1,217,417	61,756	1,279,173
セグメント利益又は損失()	170,996	16,486	9,547	164,056	1,497	165,554

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	164,056
「その他」の区分の利益	1,497
セグメント間取引消去	-
四半期連結損益計算書の営業利益	165,554

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	889,034	240,041	69,954	1,199,029	68,696	1,267,726
セグメント間の内部売上高 又は振替高	129,384	51,070	-	180,454	-	180,454
計	1,018,418	291,111	69,954	1,379,484	68,696	1,448,180
セグメント利益	232,697	11,835	6,871	251,404	7,812	259,217

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	251,404
「その他」の区分の利益	7,812
セグメント間取引消去	-
四半期連結損益計算書の営業利益	259,217

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	77円25銭	118円09銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	120,147	183,815
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	120,147	183,815
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,555	1,556
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	77円24銭	
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(千株)	0	
(うち新株予約権)(千株)	(0)	()
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第71期(2021年1月1日から2021年12月31日まで)中間配当については、2021年8月11日開催の取締役会において、2021年6月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	38,914千円
1株当たりの金額	25円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2021年9月6日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年8月10日

株式会社妙徳
取締役会 御中

東陽監査法人
東京事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田 島 幹 也 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 山 田 嗣 也 印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社妙徳の2021年1月1日から2021年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2021年4月1日から2021年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社妙徳及び連結子会社の2021年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。